

ミッション		夢あふれ、じっくり考え、豊かに表現する 子どもの育成		ビジョン ○ 明るく楽しい学校      ○ 創造と活気に満ちた学校      ○ 伝統を生かす学校										尾道市立南小学校	
評価計画				自己評価						学校関係者評価				改善計画	
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	7月	1月	達成度	評価	結果と課題の説明	二次評価			コメント	改善案	
					達成値	達成値				イ	ロ	ハ			
確かな学力の向上 基礎学力の確かな定着と学習意欲の向上	漢字・計算力などの基礎・基本の向上を図る	チャレンジタイム、ドリル・スキル学習、学力補充の実施	単元テストの平均点	85	89	88.3	104	A	学力補充・個別指導を引き続いて取り組んできた。個の課題に合わせて丁寧な指導を行い、基礎的・基本的な内容の定着を図っている。指導内容が増えたが、数値的にはあまり開きは定着できていないと考える。	2	0	1	・子どもたちに学力をしっかりとつけてくださっている。ありがたいことです。	・チャレンジタイムの内容の充実を図る。 ・評価の仕方を考慮しながら進めていく。	
	算数科の思考力・表現力の育成を図る	表現方法の工夫を図る	算数アンケートによる割合	80	57	53.8	67	C	児童の表現は多様な考えがでてきたが、指標の示し方に課題があり、児童の意識と数値との開きがあると考え。来年度の指標の在り方を見直していく。	2	0	1	・学習発表会、参観日等を拝見させて頂き子どもたちにしっかりと表現力がついている様子が伺えます。	・アンケートに「根拠を明らかにして、説明することができる。」という項目を作り、評価する。	
		ループリック評価で表現力を分析する	数学的な考え方の平均点	80	85	84.5	105	A	正答だけではなく、なぜそうなるのかを筋道立てて説明する力をつけさせるため、表現力の評価を取り入れている。児童の発言内容を分析してみると、ずいぶん算数的表現力がついてきていると感じる。	2	0	1	・個々にわたって発言内容を分析されている取り組みは、素晴らしいと思います。 ・個を大切にされていることがよく分かります。	・引き続きループリック評価を用いて、児童の表現力を評価しながら、指導方法を工夫していく。	
	多様な表現力や学習意欲の育成を図る	コミュニケーション力を育成する	アンケート（友だちの発表につながる発言ができたか）による割合	80	47	63.4	79	C	自分の考えはうまく表現できるようになってきたが、他の児童の考えを取り入れ、よりよく表現しようとする態度は、まだ育ちきれていない。相手の考えを「聞く」力に課題がある。	2	0	1	・なかなか人の話を聞き、それに対する自分の考えや意見を言うことは、難しいと思いますが少人数であるため、一生懸命聞くこととする気持ちや態度が育ってほしいと思います。	・集会などで話題になった内容を要点化してチェックする場を設定する。 ・聞かなければならない場を設定する。	
		「みなみキッズノート」の取り組み	1週間て低学年2ページ、中学年3ページ・高学年5ページした割合	100	88	82	82	B	内容についてはまだ十分とは言えない。学年に応じて自学自習の仕方を指導し、内容の充実を図る。	2	0	1	・宿題と自学自習が併用出来たら力がつき自信がつくと思います。 ・地道に取り組んでください。	・家庭学習の手引き等を作成し、学年に応じて内容の充実を図り、工夫して取り組んでいる児童のノートを積極的に紹介していく。	
豊かな心の育成 道徳教育と生徒指導の充実	道徳教育の推進と充実を図る	子どもの道徳性を高めるための教材開発を図る	教材開発（年1回）	1	1	-	100	A	学年の実態に合わせて教材を自作し、指導した。その時間の目標も達成できた。引き続き、内容と指導の充実を図っていきたい。	1	0	2	・自作教材を作っていくのは、大変だと思います。児童の実態、地域の実態に即した教材開発をされる南小の財産にしてください。	・月1回は板書やワークシートなど工夫した授業を実施し、児童の道徳性を高める。	
	生徒指導の推進と充実を図る	「5つの『あ』」への定着と習慣化に向けて取り組む	児童アンケート・振り返り等による定着度	85	79	83.6	98	B	5つの「あ」のうち、「あいさつ」「後片づけ」「相手」は目標値に達しているが、「歩く」「集まる」に課題がある。「静かに行動する」ことを指導する必要がある。	3	0	0	・最近子ども達もはすかしがらすはすっきりと「あいさつ」が出来ることが多くなっています。 ・あいさつは、地域と学校内とは大分ちがいます。お父さんや地域の方も心がける必要があります。	・「歩くとき」「集まるとき」になぜ静かに行動しないといけないのか、子どもに考えさせる場を学活や児童朝会などで設定し、その必要性について子どもに指導し、確認させる。	
運動能力アップと健康な身体づくり	運動能力アップのための工夫・改善を図る	5分間マラソンの個人記録を取り、充実を図る	5分間走で低学年600m、中学年800m、高学年1000m走る割合	80	85	89	111	A	高学年はほぼ目標を達成できた。低中学年は、目標をかなり上回って達成できたので、目標値の見直しが必要である。	3	0	0	・よく努力していますね。目標値を上げることが出来るのはすごい。 ・継続は力なりですね。「ファイト、ファイト」と応援したくなります。	・低学年700m、中学年900m、高学年1000mに目標値を上げる。 ・児童が意欲的に取り組めるよう記録証やマラソンカードなどを工夫する。	
		投てき力と瞬発力を高める	ソフトボール投げの記録が1割アップする児童の割合（6月と1月の比較）	80	-	81	101	A	個人差もあり、1割アップは難しい児童が少なくない。個により1～2mアップという目標に変更した方がよい。	3	0	0	・少しずつ無理をせず伸ばしてください。	・ソフトボール投げの記録アップをする児童の割合（6月と11月の比）80%を見直す。 ・投てき力を高める基本の運動を授業や体育朝会などで取り入れ改善を図る。	
信頼される学校づくり	地域との連携を図る	地域人材の活用を積極的に行い、あいさつを活発にして地域とのかかわりを深める	各学年が年3回	18	6	26	144	A	積極的に地域の方を活用した。多数の方々にお世話になった。地域との関わりを深めていくためにさらに推進していく。	3	0	0	・お忙しい中で地域の人との交流を計画されるのは、大変でしょう。授業時数との関係、打ち合わせ等大変だと思いますが、工夫してみてください。 ・人だけでなく必要な物等ありましたら、教えてください。 ・新聞で陶芸教室の記事を見ました。学校便りで瀬戸田首領を教えていただいている写真など、色々関わりを持っていることを知りました。情報交換が大切ですね。地域の方も（特に老人会）学校に行けて喜んでます。イキイキしてきます。	・計画に従い、積極的に地域の人々と関わる活動を進める。	

【自己評価 評価】

A：100≦（目標達成）  
C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100  
D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。 ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。